



ひがしやまあいじえん えんだより

# STEP

Living together. Growing up together. Caring for children.



2022  
5 May





## あいじえんコラム 2022.5

早くも新年度を迎えて1か月が過ぎようとしています。相変わらず新型コロナウイルス感染症の拡大に歯止めがきかず、なかなか感染者数が減少しません。数だけ見れば一時期のピークより減ってはいますが、そこから変化がなく、毎日4万人を超える感染者が出ています。感染症対策に気は抜けませんが、子どもたちの園での生活そのものをできるだけ変えないようにして、過ごせるようにしていきたいものです。

慌ただしい新年度がスタートして、園もゆっくりと落ち着いてきています。新入園児さんはもちろんのこと、みんなそれぞれクラスや担任が変わりドキドキそわそわしている日々でした。在園児であっても、4月は新しいことばかり。保育園や幼稚園に入園すること・進級することはその内面に最も大きな変化を伴います。子ども達はそれを小さな身体で受け止めて、適応しようとしているわけですから、決して急ぎ過ぎることなく、寄り添っていきたいと思います。そのためにも日々主体性のある活動の進め方が大切になってくると思います。これらは、保育士が考えぬいて用意した環境で、自ら選択して遊ぶことが主なうですが、「何かをやる」ためにはその「きっかけ」となるものが必要となります。つまり導入と呼ばれるものです。あいじえんは子どもたちに「やりたい」と思ってもらえる玩具・教材・遊具・環境、全てに工夫を凝らし、用意しています。そして、それらを選びとり、遊びを通して様々なことを覚えたり、身に付けたり、学んでいく環境で一人ひとりが大きく成長していきます。

先日、息子が自転車に乗れるようになりました。3歳の半ばくらいからストライダーにスイスイ乗れるようになっていて、「ストライダーに乗れるんなら自転車もすぐ乗れるようになるよ」という話を聞いていたので、思い切って乗せてみたら、ものの15分ほどで自分でこいで乗っていました。私自身が子どものときは、園のグラウンドで父に後ろを支えてもらい、走りながら何度も転んで何回も練習したものです。今考えればこの方法、きちんとした段階を踏んでいませんので、すぐに乗れるはずがありません。今回はたまたまストライダーでしたが、遊んでいると自転車に乗る際に必要なバランス感覚が自然と身に付き、スムーズに自転車に移行できたのでしょう。考えれば、バランス感覚も身についてないまま、補助輪を外され、不安なまま乗せられ、こいでバランスとれという話は酷な話です。しかし、それが普通だった時代から考えれば、こんなにもすぐ乗れるなんて、昔とやり方が変わったなと思ったことです。

保育の導入においても、環境がガラリと変わりました。子どもたちの「興味関心を引き出す」ことを重要視し、その興味関心から始まる活動や学びは、子どもの探求心をくすぐり、「もっと知りたい」「こんなこともやってみたい」という主体性へつながります。そのためには実際に活動するまでの導入や環境づくりは、保育士の用意する日々の工夫が重要になってきます。また、あらかじめ与えられたゴールをめざすのではなく、試行錯誤を繰り返しながら子どもたち自身でゴールを見つけることも大切です。幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示されている「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」も「方向性」であり、目標やゴールではありません。そして全てが狙い通りにはいかない子どもたちの活動も、振り返った時に「この場面は10の姿だったな」ということになるのです。子どもたちの今しかできない「やりたいこと」を尊重して、乳幼児期にしか経験できない体験を通して、その姿を大事にし、ともに過ごしていきたいと思います。

### event

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1	2	3	4	5	6	7
					野菜・朝顔植栽	
8	9	10	11	12	13	14
	花まつり			園外保育		
15	16	17	18	19	20	21
		避難訓練	体操教室	検尿	身体測定	
					検尿（予備日）	
22	23	24	25	26	27	28
		おたのしみ会				ファミリーデー
29	30	31				

※18日に検尿の容器を配布します。翌日19日の朝に採取して持ってきてください。

## 園外保育

12日にまつたけは清水山大観峰を目指して園外保育に出かけます。まつたけのみおしばりの用意をお願いします。弁当は園で用意します。もも・さくら・うめは近隣散策をします。

## 花まつり

9日は花まつりを行います。まつりはお釈迦さまの誕生をお祝いする仏事です。本来は4月8日。

みんなで花御堂をお飾りして、お釈迦さまに甘茶を注ぎ、お参りをして、歌を歌ったり、お話しを聞きます。花御堂をお飾りしますので、お花があるところは持たせていただくと助かります。

## 保育懇談会

5月にスケジュール表を昇降口に掲示します。各ご家庭で都合の良い希望日・時間帯に予約を入れて下さい。

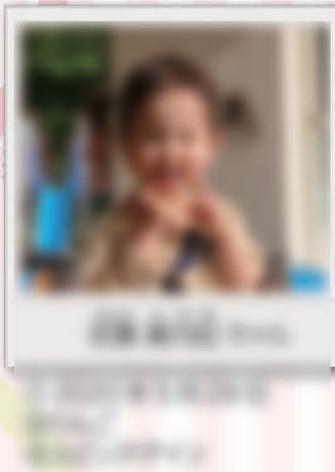
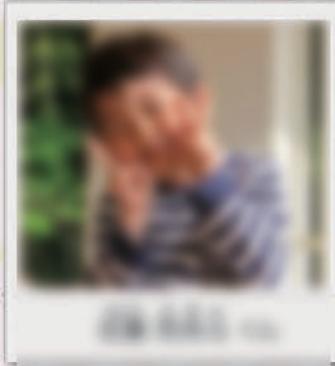
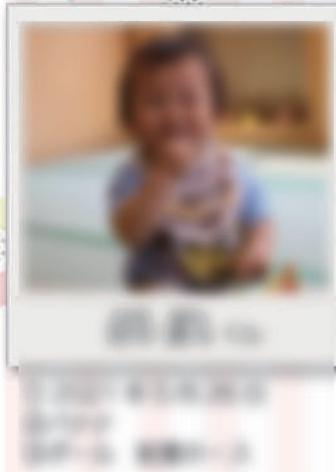
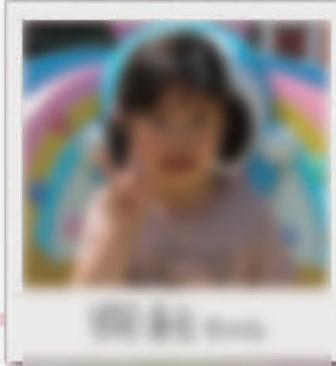
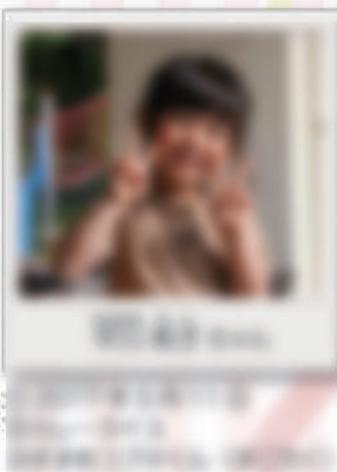
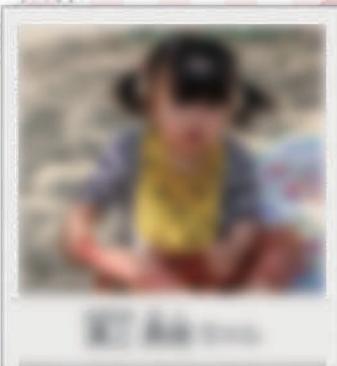
時間帯 ①13:30～13:50 ②14:00～14:20 ③14:30～14:50

きょうだい児は、なるべく別々の日・時間帯をご指定いただきたいと思います。もし都合がつかず同日同時間をお希望される場合は、開始時間や順序などを予めご相談ください。

## ファミリーデー

月末に家族のみなさまへ日頃の感謝の気持ちをこめて、子どもたちからプレゼントを贈りますので、お楽しみに！

Happy Birthday



## こどもの好き嫌いの原因は？！

### 1. 味覚の未発達

野菜などの苦みや酸味は本能的に嫌う味で繰り返し学習で食べられるようになります。

### 2. 経験不足による食わず嫌い

大人がおいしく食べる様子を見せるのも効果的です。

### 3. 嫌な経験が残っている

無理強いや、嘔吐など嫌な経験の記憶が原因になることもあります。

### 4. うまく咀嚼出来ずに苦手意識を持つ。

咀嚼機能に合う食事を提供しましょう。

### 5. 加工食品の日常的な利用

子供の頃から、日常的にインスタントラーメンやスナック菓子などのうま味を強調したものを食べていると苦味や酸味といった微妙な味をもつ野菜を味わえなくなります。

好き嫌いはすぐにはなおりません。  
嫌いなものは強要せず、調理方法  
や盛り付けを工夫しながら食べや  
すい調理で慣れていくましょう。

- ①生年月日
- ②好きな食べ物
- ③好きなおもちゃ

# もみじのひと月

## 入園式

当日の朝は、緊張している子、ニコニコ楽しみにしている子、それぞれが進級することに対して新たな気持ちで登園してきていることが感じられました。

新しい名札をつけてもらうと、みんな笑顔で、喜んで着るようでした。

式典の間もしっかりと話を聞いて、点呼も元気よく返事をしてくれていました。一人ひとりがお兄さんお姉さんになったという気持ちをもって、入園式を迎えたのだと思感します。



## 歓迎会

園内でボールを使ったゲームや宝探しといったレクレーションをしました。ゲームは、グループをつくり、競い合いながら楽しみました。グループの友達と協力しながら一生懸命取り組む子ども達の姿は、とても楽しんでいる様子で、良い雰囲気だったと感じます。宝探しでは、遊具に隠された番号の書かれた紙を見つけるもので、どこかな？と遊具を隅々まで見ては、見つけると「あったー！」と嬉しそうに紙を持って行く様子がありました。その後は園庭で、もみじ組のみんなでお弁当を食べました。朝から楽しみにしていたお弁当。みんなワクワクしながらお弁当を開けていました。お家の方が作ってくれたお弁当に、「おいしい」の言葉が飛び交い、笑顔が溢れていた子ども達でした。



## おにぎり作り

朝から「今日おにぎり作りだよね！」と聞いてくる子もいて、楽しそうにしている様子でした。給食の前におにぎり作りをし、そのまま給食を食べました。いつもより給食の準備が早く、笑顔で始まるのを待っていました。おにぎり作りが始まり、説明を聞いてる時も静かに聞いていました。ご飯をラップに包むのが難しい様子でしたが、手本を見せてもらうと、スムーズに出来ていました。「ぎゅ、ぎゅ」と声に出しながら、おにぎりを握っている子もいて、楽しんでいる様子が伝わりました。丸いおにぎり、三角おにぎり、色んなおにぎりができました。給食になり、自分で握ったおにぎりを先に食べる子や最後まで残している子など、食べ方は様々。自分で作ったおにぎりは格別なようで、「おいしい」の声がたくさん聞けました。



## まつ・たけ

今月は戸外遊びや室内遊びを中心に過ごしました。

それぞれ自分の遊びたいあそびを自由に思いっきり楽しむ姿がありました。まつとたけ、異年齢でも少しずつ関わりながら楽しんでいる様子もありました。

戸外遊びでは、桜の花びらや草花を集めて、ままごと遊びの材料にしたり、鬼ごっこをしてたくさん身体を動かしていました。また虫たちが少しずつグラウンドや園庭に出てきているので、探してみたり必死に捕まえようとしている姿もありました。カエルやテントウムシ、ダンゴムシ、これからたくさんの虫取り遊びができる楽しみがあります。

室内遊びでは、友達同士たくさん関わり合いながら、描画をしたり、紙遊びをしたり、時には段ボールで乗り物を作ってみたりして、楽しんでいる様子がありました。時間がある時は製作も取り入れ、ちょうどや桜の木、こいのぼりなど、季節感のある製作を行いました。1人ひとりが集中して製作に取り組み、出来上がりを見て、「これは〇〇ちゃんのだね」「きれいだね」と自分のもった感想を言葉にして伝えている子ども達の姿がありました。どれもとっても良い作品になりました。



## もも

進級したばかりの4月上旬は、新しい保育室や1日の活動の変化に戸惑が姿もありました。数日するとすぐに慣れたようです。さくらの時と違い、保育室にある玩具の種類も数も増え、あれこれと色々遊んでみるもの、今子どもたちが一番好きな遊びは粘土のようです。天気の良い日は、戸外遊びや散歩を楽しんでいて、さくらぐみさんと善光寺に登ったり、長い距離もなんなく歩いて野草を摘んだり、川でじーっと魚を観察しました。蝶やメダカの学校を歌いながら歩く姿がとても可愛らしいです。

今月は初めての体操教室でした。先生の話にしっかり耳を傾け、笑い合いながら楽しく参加できました。たくさん身体を動かし、色々できるようになるといいなと思います。



# さくら・うめのひと月

## さくら

新しいクラスでの生活が始まり、早くも1か月が過ぎようとしています。3人でのスタートは心細いかなと思っていたものもどこへやら。個性豊かなメンバーで毎日パワフルに過ごしています。

4月は天気の良い日が多く、戸外が大好きな子どもたちはたくさん陽光を浴びて、元気もりもりの日々でした。ももぐみのお姉さんたちと散歩に出かけたり、園庭で咲き誇る八重桜を見たり、グラウンドで蝶々を追いかけて楽しんでいました。

雨天で外に出れず、室内で過ごす日にはパズルや紐通しなど指先を使って遊ぶ玩具も大好きな子どもたちです。5月も初夏の風を感じながら元気に過ごしていきたいと思います。



## うめ

4月は室内遊びや外遊びを楽しみました。

室内ではカラーボールや風船、シール貼り、描画、マット遊びなどを行いました。コロコロと転がるボールを追いかけたり、夢中でシール貼りを楽しんでいました。シールを貼っているとき、一生懸命で口が開いてしまう子どもたちがとても可愛いかったです。

戸外遊びでは春の自然に触れたり、外気浴をしたりしました。蝶々を追いかけたり、滑り台を滑ったり、保育者と手を繋ぎ散歩したり、身体を動かして楽しみました。

4月に入園してきた子どもたちは、保育室の中で安心できるお気に入りの玩具や場所があり、日に日に泣くことが少なくなり、笑顔が増えてきています。4月の1か月でもトイレで排泄が出来るようになったり、独り立ち、つかまり立ちができるようになったり、子どもたちの成長に驚くとともに、こんなに間近で関わることにとても嬉しく思います。子どもたち一人ひとりと温かく関わりをもち、成長を喜び合っていけたらと思います。

## 本の話

2020年2月のSTEPにて紹介させてもらいましたが、もう一度紹介します。

児童精神科医である佐々木正美さんが臨床に携わった経験をまとめた育児書、「子どもへのまなざし」です。児童精神科医の佐々木正美先生の「佐々木セミナー」という講演録を1冊の本にまとめたものがこの本です。

保育園、幼稚園、学校、児童相談所、養護施設などのいろいろな場所で、さまざまな親子との出会いを通して感じたこと、子どもたちを豊かに健やかに育てるには、ということを佐々木さん自身の体験を通して語られている本です。

初版は1998年と23年前ですが、実際に話をされていたのは更にそれよりも前。300ページにも及ぶ中に、育児をしていく上で共感できるたくさんの言葉がぎっしりと詰まっています。20年以上前にお話ししされたことが一冊にまとめられているのですが、まるで現代の子どもを取り巻く環境を先読みしていたかのよう。

乳幼児期を中心とした子ども時代に、親がどのように我が子と接していくべきかというアドバイスは、読んでいてウンウンと頷くことがあります。育児に関わる人ならば、是非一度は読んでいただきたい本です。



ですから、じっさいの育児は育児書に書いてあるのよりは、ゆっくりめでいいのです。まずこのことを、若いお母さんや保母さんにいってあげたいですね。「いろんな発達や成長は、育児書に書いてあるのより、すこしゆっくりめでいいのです、というぐらいの気持ちでどうですか」ということを。

乳児が自分でできる努力というのは、泣くことだけだということがわかります。泣くことで親をはじめ、まわりの人に自分の希望を伝えるわけです。その伝えた希望が望んだとおりにかなえられればかなえられるほど相手を信じるし、その相手をとおして多くの人を信じるし、それよりなにより自分自身を信じるし、自分が住んでいる環境、地球、世界を信じることができます。人を信じることと自分と世界を信じることとは、このようにおなじことなのです。

教育とか育てるということは、私は待つことだと思うのです。「ゆっくり待っていてあげるから、心配しなくていいよ」というメッセージを、相手にどう伝えてあげるかです。子どもにかぎらず人間というのは、かならずよくなる方向に自然に向いているわけです。



待ってあげる姿勢は、子どもを十分信頼しているという気持ちを伝えることにもなります。このことは子どもへの愛を、子どもに最もわかりやすく伝えることになるのです。

Book  
今月の絵本



へいわってすてきだね

安里有生 詩 長谷川義文 画 ブロンズ新社

6歳の少年の詩を、長谷川義史が魂で描いた！2013年、沖縄県「平和の詩」最優秀賞受賞作品。慰霊の日の式典で、6歳の少年が朗読する凜々しい姿が報道され、全国で大きな反響を呼んだ。長谷川義史が、与那国島の安里有生を訪れて描きあげた絵本！「ああ、ぼくは、へいわなときにもまれてよかったよ。このへいわが、ずっとつづいてほしい。みんなのえがおがずっと、つづいてほしい。」沖縄発、平和へのメッセージ。

7

## 今月のきゅうしょくメニュー

		こんだて	10時のおやつ	15時のおやつ
1日(日)				
2日(月)	ごはん 魚のマヨ焼き きんぴらごぼう		バナナ	バナナせんべい
3日(火)	憲法記念日			
4日(水)	みどりの日			
5日(木)	こどもの日			
6日(金)	キーマカレー フレンチサラダ りんご		りんご	動物ビスケット
7日(土)	親子うどん フルーツポンチ		棒チーズ	ジャムサンド
8日(日)				
9日(月)	ごはん 麻婆豆腐 野菜のみそマヨ和え		バナナ	安倍川マカロニ
10日(火)	ごはん 中華スープ 魚の照り焼き 南瓜サラダ		せんべい	りんごケーキ
11日(水)	ごはん ジャガ芋のそぼろ煮 胡瓜としらすの酢の物		りんご	ミルクもち
12日(木)	わかめごはん ウィンナー ナゲット スパゲッティ ほうれん草のごま和え		ビスケット	ハイミックス
13日(金)	ごはん 魚のチリソースかけ ほうれん草のごま和え		棒チーズ	お好み焼き
14日(土)	もやしラーメン ヨーグルト和え		せんべい	ワインナーパン
15日(日)				
16日(月)	ごはん ひき肉の回鍋肉 マカロニサラダ		ビスケット	バナナビスケット
17日(火)	ごはん 南瓜のそぼろ煮 胡瓜としらすの酢の物		バナナ	りんごせんべい
18日(水)	ごはん 唐揚げ 和風サラダ ブロッコリー		棒チーズ	さつまいもケーキ
19日(木)	ごはん みそ汁 焼き魚 中華炒め		せんべい	クッキー
20日(金)	ごはん 大豆の五目煮 ちくわの磯辺揚げ キャベツ		りんご	ババロアせんべい
21日(土)	和風スパゲッティ ヨーグルト和え		バナナ	動物ビスケット
22日(日)				
23日(月)	ごはん 煮込みハンバーグ 春雨の酢の物 こふき芋		ビスケット	チョコケーキ
24日(火)	ごはん 魚のみそ煮 スパゲッティサラダ		棒チーズ	マドレーヌ
25日(水)	ごはん カレーコロッケ ごまサラダ ブロッコリー		バナナ	バナナせんべい
26日(木)	ごはん 豆腐入り松風焼き 山吹和え キャベツ		せんべい	チョコバナナケーキ
27日(金)	ごはん 肉野菜い炒め ナムル風煮びたし		バナナ	スイートポテト
28日(土)	肉うどん フルーツポンチ		りんご	中華おこわ
29日(日)				
30日(月)	ごはん みそおでん フレーク和え		せんべい	バナナビスケット
31日(火)	ごはん ささみチーズフライ 和風サラダ ブロッコリー		ビスケット	卵サンド



幼保連携型認定こども園 社会福祉法人 千広会 ひがしやまあいじえん  
835-0002 福岡県みやま市瀬高町小田 2215-5  
TEL 0944-63-7519 FAX 0944-63-5734 web h-ajien.net

